

# 大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査） 同意書

## 【検査の内容、目的】

下剤で大腸の便をきれいにした後で、内視鏡（カメラ）を肛門から挿入して大腸全体を詳しく観察します。検査時間は10～20分程度です。

異常が見つければ、組織を一部採って検査に出すことがあります。

検査を楽にするために注射を使って眠って行うことをお勧めします。注射を使った場合は検査後に1時間ほど休んでいただきます。検査後は車の運転はお控えください。

## 【偶発症】

内視鏡挿入時に非常にまれですが出血や穿孔がおこることがあります。

組織検査後に出血することがあります。

## 【大腸ポリープ切除術】

ポリープがあればその場で切除することができます。日帰り手術となります。

ポリープが大きくて入院して切除が望ましい場合は、近隣の病院をご紹介します。

ポリープ切除後の1週間程度は出血の可能性があります。この期間はお酒、旅行、運動は控えてください。

非常にまれですが穿孔がおこることがあります。

## 【注射で眠っての検査について】

眠る注射を 使用する 使用しない

上記内容の説明を受け、理解しましたので、大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）を受けることに同意します。

予期されない状況が発生した場合は、それに対処する緊急処置を受けることも併せて同意します。

年 月 日

患者様または代理人（続柄 \_\_\_\_\_）の署名

担当医 \_\_\_\_\_